

科目名		授業形態	担当教員名	
人間関係論		講義・演習	木村 和弘	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
医療従事者は、様々な背景をもつ他者と関わり、人間関係を適切に構築する必要があります。そのために、まずは自分のことを良く知る必要があります（自分の価値観、コミュニケーションの傾向等）。そして、人の多様性を理解し、思いやりの心や他者を尊重する気持ちを持ってコミュニケーションを行うことが重要です。本科目では、コミュニケーションに関する基本的知識と態度を身につけ、協力的に人と関わる体験を通してコミュニケーションの意義と重要性を学ぶことを目的とします。				
授業の到達目標				
①コミュニケーションの意義と重要性を説明できる。 ②コミュニケーションの方法と技能を説明できる。 ③相手に関心をもって人の話を聞くことができる。 ④話し手聞き手の役割りに基づいて適切なコミュニケーションスキルが活用できる。 ⑤コミュニケーションにより良好な人間関係を築き、このスキルを活用しチームの一員として責任を果たせる。				
授業計画				
回	内容			
1	コミュニケーションの基本 ～良いコミュニケーションとは？専門職のコミュニケーションとは？～			
2	良いコミュニケーションのための人間行動理解	その① 人間関係の形成を考える	～愛着理論～	
3	良いコミュニケーションのための人間行動理解	その② 人間関係のための自己理解	～自己覚知～	
4	信頼関係を構築するためのコミュニケーション	その① 傾聴の具体的方法	～3つの面接技法～	
5	信頼関係を構築するためのコミュニケーション	その② 事例を通して傾聴を学ぶ	～バイステック7原則～	
6	信頼関係を構築するためのコミュニケーション	その③ 伝える力・プレゼンテーション・連携の為の伝える力		
7	対人援助職者のための人間行動理解	その① 喪失するという事		
8	対人援助職者のための人間行動理解	その② ターミナルケア		
9	対人援助職者のための人間行動理解	その③ ストレスコーピング		
10	患者様への接し方を考える。	その① 医療専門職の職業倫理から考える		
11	患者様への接し方を考える。	その② 高齢者への接し方	～身体・心理特性を配慮した対応～	
12	患者様への接し方を考える。	その③ 実践事例から考える		
13	患者様への接し方を考える	その④ 身体機能・精神機能をアセスメントして対応する		
14	患者様への接し方を考える	その⑤ ご家族への対応		
15	多職種連携とコミュニケーション	全体のまとめ		
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	40%	選択式問題と、作文問題を出題します。		
レポート				
小テスト				
平常点	30%	毎回、個人ワーク、グループ討議を行います。取り組みの姿勢、学びについて評価します。		
その他	30%	毎回、講義の最後に「今日の学び」というミニレポートを書きます。その内容による評価です。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	毎回、資料を配布します。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				